

麻しん（はしか）

保健室

— 予防と対策について —

麻しんは、麻しんウイルスが感染して起こる急性の全身感染症で、発熱や発疹などが主な症状で、重症化すると肺炎や脳炎を引き起します。

感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ 100% 発症すると言われています。マスクや手洗いのみでは予防できません。予防接種が最も有効な予防法となります。

① 予防接種について

予防接種をすることで 95% の人が麻しんウイルスに対する免疫を獲得することができると言われています。確実な免疫を得るためにには 2 回の接種が望ましいとされており、日本では現在麻しん・風しん混合ワクチン(MR ワクチン)として、1 歳と就学前の計 2 回の定期接種が行われています。母子手帳などでご自身のワクチン接種歴を確認しておくことが必要です。また、本学では入学時の定期健康診断で麻しん抗体価検査を新入生全員に受けていただいています。

※ 下記の人は予防接種が推奨されます

- ・1 歳以上で 2 回のワクチン接種歴がない人
- ・抗体価陰性及び抗体価陽性でも基準を満たさない人



※ 医療機関や介護施設、学校・こども園、薬局などの実習の際には抗体価やワクチン接種歴の提示が必要となります。

② 症状

潜伏期間は 10~12 日で、発熱、咳、鼻水といった風邪の症状が現れます。

2~3 日熱が続いたあと、39°C 以上の高熱と発疹が出現します。



このような症状がある場合は麻しん（はしか）の疑いがあることをかかりつけ医または医療機関に電話で伝え、受診の要否や注意点を確認してから指示に従ってください。

③ 麻しん（はしか）と診断された場合

登学禁止となります。大学教務課へ連絡し自宅で療養して下さい。



④ 登学のめやす

学校保健安全法では「解熱した後 3 日経過するまで」となっていますが主治医の指示に従ってください。

⑤ 出欠の取り扱いについて

手続きには医師が発行する「登学証明書（治癒証明書）」が必要です。

医師が伝染の恐れがないと認めた日の翌日以降に提出してください。



【連絡先】

教務課 0721-24-0382

保健室（志学館） 0721-24-1059

保健室（20 号館） 0721-24-0397